

令和2年度秋田県公立高等学校入学者選抜

一般選抜学力検査問題 国語

## 配点比較

昨年	大問 1	大問 2	大問 3	大問 4	大問 5	大問 6
問題数	4 問	8 問	7 問	7 問	7 問	1 問
配点	1 0 点	2 4 点	2 2 点	1 4 点	1 8 点	1 2 点
今年	大問 1	大問 2	大問 3	大問 4	大問 5	大問 6
問題数	4 問	7 問	7 問	8 問	7 問	1 問
配点	1 0 点	2 1 点	1 4 点	2 4 点	1 9 点	1 2 点

全体的に大問の前後はあるものの配点の割合は、昨年同様といえる。

### 大問 1 聞き取り調査

昨年同様、会話を聞き各問に答える問題

#### <変化>

昨年は2名の会話だったが、今年は3名の会話になっている。

#### <ポイント>

会話からそれぞれの立場を理解し、重要なポイントを拾い上げ聞くようにする。

### 大問 2 説明的文章

#### <ポイント>

問題・話題に対し筆者の考えを読み取るために、繰り返される言葉や同義語、もしくは対義語に注意するようにする。また接続語に注意を払い、内容の展開を考えるようにする。

その他には、断定的な表現を使っている場合は、筆者の考えを強く示している場合があり、文章の終わりは特に結論をのべていることがあるので注意したいところ。

また、各大問にも言えることであるが、本文だけではなく、問題文ある言葉は、本文の言葉や同義語になっている場合が多いので、問題文も注意深く読んでほしい。

## 大問3 説明的文章2

- 漢字の読書き
- 文節分け
- 用言の活用の種類
- 対義語

### <ポイント>

文章内容よりも、漢字・語句、文法が問われている大問だった。

漢字・語句、文法は正しい知識とその活用まで理解しておく必要がある。

個々後の勉強としては比較的しやすい部分ではあるため、日頃から学習しておくようにする。

## 大問4 文学的文章

### <ポイント>

小説の一部を抜粋しているため、本文の前の点線で囲まれた文章中にある出来事、時期、場所などの説明から、ある一手の状況を把握してから本文を読むこと。

人物名、出来事、人物の行動、心情表現などはしっかりと読みとらえ、心情の変化などを抑える。本文中にはない言葉を使い、人物像や心情を答える問題も増えているため、語彙力や表現力を増やしておくようにはしたい。

## 大問5 古文

### <ポイント>

古文では基本的に出題される「現代仮名遣い直し」と「古語」は押さえておきたい知識問題。

また本文の内容を理解するうえで、補足されている用語説明も利用し、おおよその内容を掴み取りたいところ。

また人物やせりふなどにも注意をしておくようにする。

## 大問6 作文

### 題材「外国人に伝えたい日本の魅力」

作文の配点は12点中、内容構成5点、表現叙述4点、表記等に3点となっている。

内容構成は、自分の考えを、理由を交えて分かりやすく述べていること。構成の工夫をしていること。表現叙述は、内容の述べ方や表現方法を工夫していること。言葉使いが適切であること。表記等では、漢字、区切り符号などの使い方や、仮名遣いが適切であること。

以上のことを念頭に置きつつ、作文は書いておきたいところ。

令和2年度秋田県公立高等学校入学者選抜

一般選抜学力検査問題 数学

## 1.小問集合

全体的に難問と呼べるものは2,3問程度であった。それ以外は例年通りの難易度であったと思われる。

- (10) 整数となる  $a$  の個数を求める問題。例年のものであればある程度総当りも可能だが、今年の問題は式の変形ができなければ解答は困難である。

(10)  $\sqrt{120 + a^2}$  が整数となる自然数  $a$  は全部で何個あるか、求めなさい。

$$120 + a^2 = x^2$$

$$x^2 - a^2 = 120$$

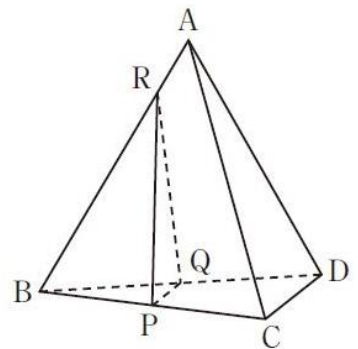
$$(x + a)(x - a) = 120$$

このように変形し、積が 120 になる組み合わせを求める。高校入試レベルでこの変形に気付くのは非常に難しい。難易度は高め。

- (14) 三平方を利用し、体積を求める問題。空間図形への応用はしっかりと理解しておきたい。難易度は標準的。

- (15) 体積の倍率を求める問題。体積比は面積比以上に複雑であるため、普段から意識していないとなかなか難しい。難易度はやや高め。

- (15) 右の図のように、三角錐  $A-BCD$  がある。点  $P$ ,  $Q$  はそれぞれ辺  $BC$ ,  $BD$  の中点である。点  $R$  は辺  $AB$  上にあり、 $AR : RB = 1 : 4$  である。このとき、三角錐  $A-BCD$  の体積は、三角錐  $R-BPQ$  の体積の何倍か、求めなさい。



## 2.二次関数、図形

2 問目に図形と関数が来るのは例年通り。難易度も全般的に標準的であった。

(1) 反比例の性質に関する問題。グラフを書いてイメージできるかがポイント。  
難易度としては標準的である。

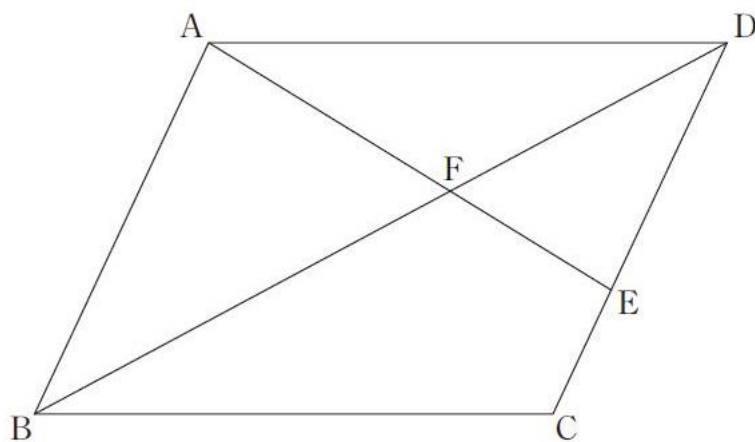
(2) 二次関数

①点 Q の y 座標  $b$  を求める問題。過程を書く問題では専用の練習をしておきたい。難易度はやや高め（記述問題であるため）。

②放物線の変域に関する問題。変域とグラフを結びつけて考えられるかが重要である。難易度は標準的。

(3) 作図の問題。垂線を二等分にて  $45^\circ$  を作ることに気付けるかがポイント。  
難易度は標準的である。

(4) 相似を利用して、面積比を求める問題。面積比の問題は苦手とする受験生が多いため、演習等で訓練しておきたい。難易度はやや高い。

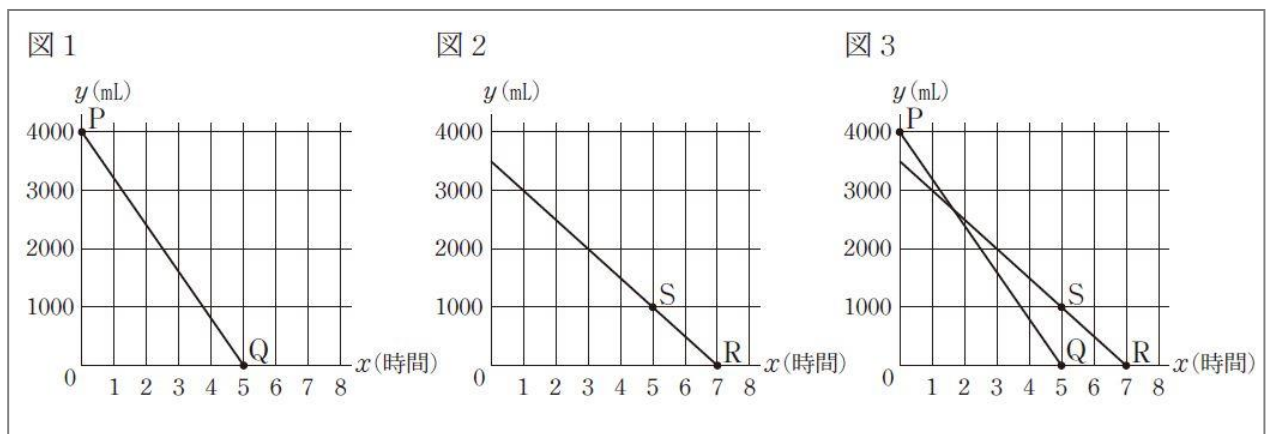


### 3.一次関数（文章題）

ここ最近増加してきている一次関数の文章題の穴埋めタイプである。計算に加え、高度な読解力が求められる。難易度は標準的。

(1) ②加湿器に性能に関する説明をしっかりと理解できているかがポイント。  
難易度は標準的である。

(2) ①説明に合う言葉を記述する問題。長めの文章と 3 つのグラフをしっかりと理解できていないとなかなか解答は難しい。難易度はやや高め。




②一次関数の式と時間を記述する問題。上のグラフから式を作ることができるかがポイント。式→グラフ、グラフ→式どちらの変換もスムーズにできるようにしておきたい。難易度は標準的。

## 4.度数分布表、確率

この出題も例年通りであった。難易度も標準的である。

- (1) 説明に適切な語句を記入する問題。最頻値が何を意味するのかきちんと理解している必要がある。難易度は標準的。

[麻衣さんの説明]



Aさんの記録の最頻値は  秒です。Bさんの記録の最頻値は  秒です。したがって、 の記録の最頻値が小さいので、 が速く走れそうだと思います。

- (2) 確率

- ①樹形図をしっかりと作れるかどうかポイント。難易度は標準的。
- ②素数を36個の数字から探すのは少し大変かもしれない。難易度はやや高め。

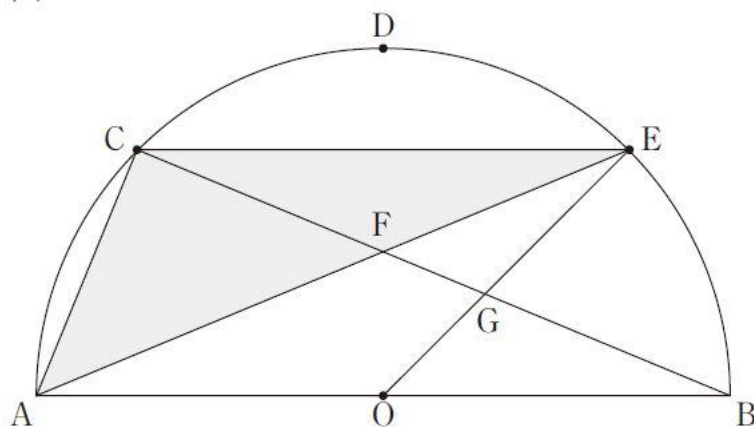


## 5-I図形（選択問題）

相似や三平方を中心とした図形の総合問題。円が絡むタイプは難易度が高くなりやすい傾向にあるため注意したい。難易度はやや高め。

- (1) 角度を求める問題。円周角の性質をしっかりと理解できていることが求められる。難易度は標準的である。
- (2) 二等辺三角形の証明の問題。例年だと証明は合同か相似が多く、このタイプは珍しい。難易度自体はやや高めである。
- (3)  $\triangle ACE$  の面積を求める問題。相似比を利用しつつ、四角形  $CABE$  が台形であることに気付けるかがカギとなる。またこれにより  $CE \parallel AB$  であることを利用ことを理解できているか、など総力を持って臨む必要がある。5-Iとしては難しい部類に入ると思われる。難易度は高い。

図2

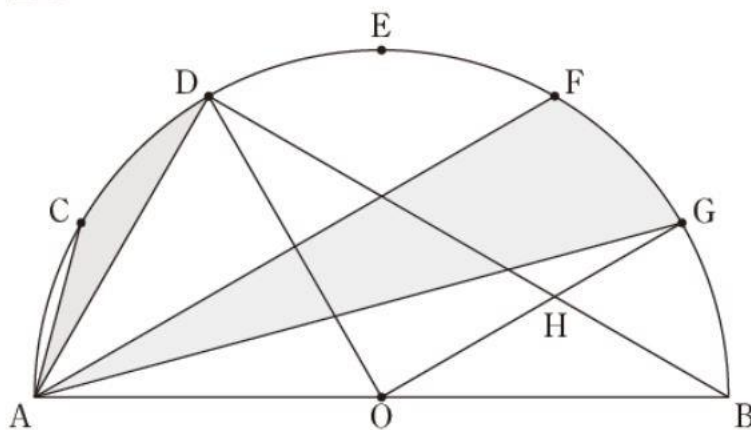


## 5-II図形（選択問題）

5-Iと同様に図形の総合問題である。全体的に難易度は高い。

- (1) 5-Iと同様に二等辺三角形の証明である。弧の長さが円周角に比例していることを理解できているかがポイントである。難易度はやや高め。
- (2) 線分  $\text{GH}$  の長さを求める問題。 $\angle\text{BOH} = 30^\circ$ に気付いているかがポイントになる。このような証明したことを前提とする問題は相似（または合同）と仮定すれば解けることが多いが、これは明確に  $30^\circ$ と分からなければ難しい。難易度はやや高め。
- (3) 面積を求める問題。面積の移動を行い、変形できることに気付けることが最低条件であるため、ハードルが高い。また変形後も  $\text{AF} \parallel \text{OG}$  を利用した等積変形が必須である。難易度は非常に高い。

図2



令和2年度秋田県公立高等学校入学者選抜

一般選抜学力検査問題 英語

# 大問1 リスニング

例年通りに近い構成・配点

- (1) 絵を見て放送にあったものを選ぶ問題
- (2) 会話を聞き、会話の最後に対する応答を選ぶ問題
- (3) 会話を聞き、質問に対する答えを選ぶ問題
- (4) スピーチを聞き適切なものを2つ選ぶ問題、  
及び最後の問いに対する話題を1つ取り上げ英文2文を書く問題

## 変化

- 例年はどの問題も各2回ずつ放送があったが、(2)において1回ずつの放送になった。
- (4)において英語スピーチに対する自分の考えを英文で書くに変更。

## 結果・対策

今回の変化にあった放送1回ずつの問題とスピーチを聞いての英文2文を書く問題の出現で、リスニング問題の難易度は多少上がったと思われる。

これは今後の教育改革に合わせた問題の変化と思われ、今後は、普段から英語を聞き理解する能力、それに対する自分の考えを返答できる能力が必要になると予想されるため、普段から英語を聞くように心掛けるなどの習慣が重要になるとと思われる。

- (2) (会話を聞き、会話の最後の文に対する応答として最も適切なものを選ぶ問題)

### 1回ずつ放送

- |   |                                  |                                 |
|---|----------------------------------|---------------------------------|
| ① | ア I'll come with you.            | イ OK. I'll take it.             |
|   | ウ I washed it yesterday.         |                                 |
| ② | ア The movie will be interesting. | イ I'll be free tomorrow.        |
|   | ウ That will be nice.             |                                 |
| ③ | ア She is a small brown cat.      | イ She is looking at the window. |
|   | ウ She is in my room.             |                                 |

- (3) (会話を聞き、質問に対する答えとして最も適切なものを選ぶ問題)

### 2回ずつ放送

- |   |                  |                    |
|---|------------------|--------------------|
| ① | ア Last month.    | イ Last Wednesday.  |
|   | ウ Five days ago. | エ Five months ago. |

## 大問2 単語補充・文法知識

昨年通りの構成・配点

- (1) 単語補充
- (2) 動詞の語形変化
- (3) 与えられた単語に2語補い英文を完成させる問題

### 変化

- 昨年から(3)の2語補い英文を完成させる問題に変更され1年経過。

### 結果・対策

昨年同様の構成で変化はなく、(3)においてはこの1年間で実力テストなど形式には少しずつ慣れてきていたと思うが、2年前までの並び換えよりは難易度は少し上。

英単語・連語の語彙力、文法力を正確に身に付けておきたい。

文法は1～3年生の文法が満遍なく出題されているので、文法問題集は繰り返し解き、文法ルールを覚えておきたい。

- (3) 次の①～③について、(例)を参考にして、〈 〉の状況の会話がそれぞれ成り立つように  内の語に必要な2語を加え、正しい語順で英文を完成させなさい。ただし、文頭にくる語は、最初の文字を大文字にすること。

(例) 〈休み明けに留学生から話しかけられて〉

Mike :  you go yesterday?

Naoki : Oh, I went to the park. I played tennis with Ken.

[答え](Where)(did)(you)

- ① 〈ALTの先生がクラスに問いかけて〉

Mr. Brown :  pen this? I found it under the desk.

Satoru : Oh, it's mine. Thank you, Mr. Brown.

- ② 〈授業中の話し合いで〉

Nancy : I always go to bed at ten. I think sleeping well is important.

Maiko : I agree. And I think eating breakfast  important as sleeping well. So I eat breakfast every morning.

## 大問3 英問英答・英作文

### 例年通りの構成・配点

- (1) 本文を読み質問に対する答えを主語・動詞のある1文で書く問題
- (2) 元日にすることに関して15語以上25語以内で英文を書く問題

### 変化

特に構成などの変化はないが、本文が昨年125語程度だったのが、約160語と増加していた。

### 結果・対策

問題形式には変化がないため、慣れていたのではないかと思う。

(1)の2問においては、本文に解答になりえる文があるが、そのまま抜き出しても減点、もしくは誤解答とされるため、本文を参考にしつつ、代名詞の置換、動詞の変形には注意してほしい。また英作文では、語彙・文法力が必要になるため、苦手な生徒は書かずに終わってしまいがちだが、少しでも英文を書くことで点数を1点でも獲得できる可能性が学校によってあるため、日頃から英文を書く、テストでは少しでも書く努力をしてほしい。

(1) 次の①, ②の問いに対する答えを、それぞれ主語と動詞を含む英文1文で書きなさい。

① What does Sam enjoy every day?

② How does Yuko usually spend her time after school?

(2) サムはメール内で下線部のような質問をしています。あなたが優子なら、質問に対してどのように答えますか。《条件》にしたがって、内に英文で書きなさい。

《条件》・文の数は問わないが、15語以上25語以内の英語で書くこと。

・符号(, . ? ! など)は語数に含めない。

## 大問4 対話文読解

例年通りの構成・配点

- (1) 会話から案内図を見て辿る順番を答える問題
- (2) 本文の会話での英文の補充問題
- (3) 本文の要約内容中の英単語補充問題

### 変化

問題形式には変化もなく、本文など本題の単語総数も昨年同様340語程度だった。

### 結果・対策

対話を読みつつどのように話が変わっていったのか図や資料と比較していく問題なので、内容把握が大切になってくる。

- (4) では本文の要約に近い内容が書かれており、補充単語も本文にないため、しっかりと内容を理解しつつ、それにあった単語を書く能力が問われている。

～ 大問3～5に言えることだが、長文は素早く正確に読む練習しておくことが必要となる ～

## 大問5 長文読解

例年通りの構成・配点

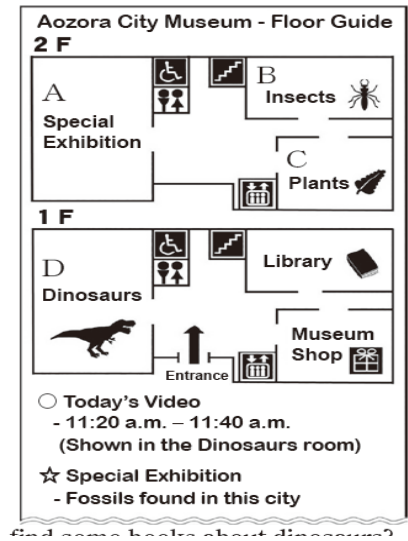
- (1) 英単語補充問題
- (2) 本文で起こった順に英文を並び換える問題
- (3) 本文内容に合った日本語記述問題
- (4) 本文内容の判断により、英単語（連語）の意味を選ぶ問題
- (5) 内容一致問題
- (6) 本文の要約文中の英単語補充問題

### 変化

特に変化はなく基本的構成。本題の英単語総数が昨年621語から667語と増加。本文のみでは、昨年461語から505語の増加となる。

### 結果・対策

物語の話の流れ、内容把握が大切になってくるが、単語総数増加が生徒へ負担増となってきた。今年是指示語・代名詞を直接問う問題はなかったが、(3)の日本語記述では、答えになりうる本文に指示語・代名詞が含まれていたため、具体的内容に置き換えて日本語記述しなければならなかった。長文を読む上で、指示語・代名詞の指す内容が分からないと本文全体が理解できなくなるので、和訳の練習では指示語・代名詞が何のことを考えて和訳するように心掛けてほしい。



令和2年度秋田県公立高等学校入学者選抜

一般選抜学力検査問題 理科



## 1.体のしくみ（反射、呼吸）

用語を理解できていれば得点源にしやすい単元である。難易度も全体的に低め。

- (2) ②関節の動きによる筋肉の伸び縮みについて考える問題。このような完答を求められる問題が複数出題されているため注意したい。難易度は標準的。
- (3) ②呼吸に関する記述問題。呼気と吸気の違いをしっかりと理解しておきたい。

走ると、図4のように呼吸が激しくなる。このとき、肺では  
さかんに f 酸素と二酸化炭素の交換が行われている。

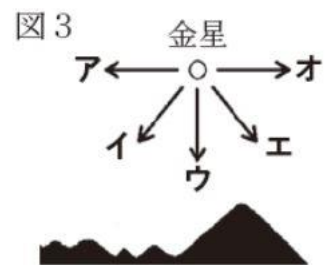


- ① 体内で不要になった二酸化炭素を、肺に運ぶ役割をもつ血液の成分は何か、書きなさい。
- ② 下線部 f のとき、呼気の酸素と二酸化炭素の濃度は、吸気に比べてそれぞれどのようなちがいがあるか、「吸気に比べて」に続けて書きなさい。

## 2.天体（金星）

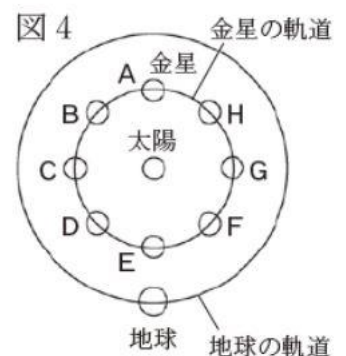
過去5年で天体分野は2回ほど出題されているが、金星からの出題は珍しい。難易度はやや高め。

- (3) 金星の動き方に関する問題。方位や時間帯を答えるものは多いが、沈み方を聞くものは珍しい。難易度はやや高め。



- (4) 金星の見える位置に関する問題。金星の大きな特色の一つであるのでしっかりと覚えておきたい。難易度は標準的。

- (6) 星座の見える時間帯を答える問題。日周運動と年周運動を組み合わせることができるかがポイント。難易度はやや高め。



### 3.気体、密度

気体に関する問題は実力テスト等でも頻繁に出題されているものである。難易度も標準的である。

#### (1) 気体

②水素が発生する物質を選ぶ問題。酸に金属が溶けることで発生することは覚えておきたい。難易度は標準的。

④アンモニアの性質に関する問題。特徴的な部分であるのでしっかり覚えておきたい。難易度は標準的。

#### (2) 密度

①密度関連の計算問題。体積、質量、密度の関係をしっかり理解できているかがカギである。難易度はやや高め。

【実験】 同じ質量の4つのポリエチレンのふくろに空気（密度  $0.0012 \text{ g/cm}^3$  ）、A～Cを同じ体積ずつそれぞれ入れて密閉した。その後、風の影響がない室内で、図2のようにポリエチレンのふくろを棒ではさんで、ポリエチレンのふくろを同時にはなしたときのようすを調べた。表2は、このときの結果をまとめたものである。

図2



表2

	気体	ポリエチレンのふくろのようす
	空気	下降して床についた。
A	水素	上昇して天井についた。
B	二酸化炭素	空気よりも短い時間で床についた。
C	酸素	空気とほぼ同じ時間で床についた。

## 4.運動と力

力の働き方と作図が中心の問題。苦手とする人の多い分野であるので注意したい。  
難易度は標準的。

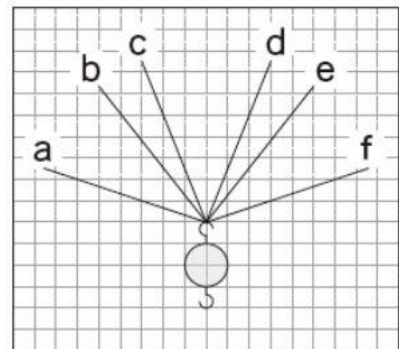
### (1) 運動と力

①物体に働く正しい力を選ぶ問題。等速直線運動の特徴を理解しているかがポイント。難易度は標準的。

### (2) 力の合成・分解

①力の大きさを求める問題。力が2本のひもに分散されていることをしっかり理解できているかがポイント。難易度は標準的。

図5



## 5.総合問題（植物、化学変化、湿度、光など）

秋田県入試ではもはやお馴染みとなった総合問題である。これが第5問に来るのは珍しい。難易度自体は標準的である。

### (1) 植物

①用語自体は難しくないが、完答であるため注意したい。難易度は標準的。

### (2) 化学変化

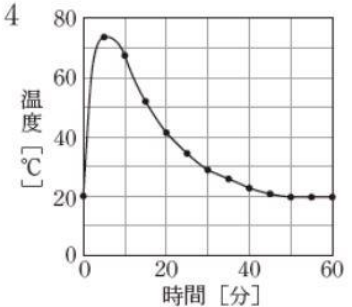
①濃度計算に関する問題。求める過程も記述しなければならないため注意したい。難易度はやや高め。

【実験 I】 図3のように、ビーカーに鉄粉 8 g と活性炭 4 g を入れ、  
e 5%食塩水を加えて、ガラス棒でかき混ぜながら5分ごとに温度を調べた。図4は、このときの結果を表したものである。

図3



図4



### (3) 湿度

②湿度の計算問題。問題自体は標準的な湿度計算であるが、記述であることに注意。難易度は標準的。

### (4) 光

①光の経路の作図。鏡の作図は少し癖があるので注意したい。

難易度はやや高め。

②まとめが正しくなるように記述する問題。実験の結果から条件を読み取れるかがポイントである。難易度は標準的。

令和2年度秋田県公立高等学校入学者選抜

一般選抜学力検査問題 社会

# 1.歴史総合

昨年度から歴史が最初に出題されるようになった。やや難しい問題はあるが、全体的には標準的な難易度で落ち着いた。

- (2) 正しい年代に並び替える問題。毎年のように出題されている形であるが、前後関係をきちんと理解できていなければ正答は難しいだろう。

難易度はやや高め。

- (5) 資料と地図をもとに記述する問題。琵琶湖が水運に用いられていたことを読み取れるかがポイントとなる。

難易度は高め。

- (6) 江戸時代の政策について答える問題。4つの改革の特徴などをしっかり確認しておきたい。難易度は標準的。

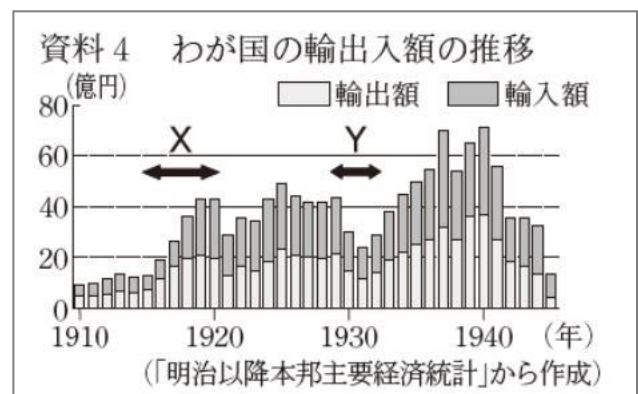
- (7) 銅が長崎に運ばれていた目的を記述する問題。鎖国時の貿易についてどれだけ理解できているかがポイント。

難易度は標準的である。

- (10) それぞれの時期における日本の様子を答える問題。大戦景気については度々出題されているので、時期もしっかり覚えておきたい。

難易度は標準的。

地図

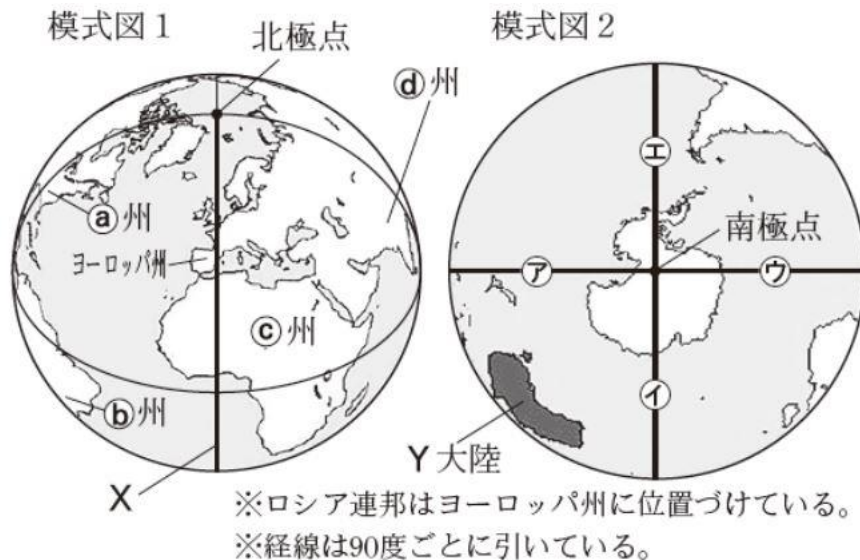


- (11) 適切な語句を記述する問題。財閥解体の目的や、その後何が起こったか等をしっかり理解している必要がある。難易度は高い。

## 2.世界地理

地図をメインにした出題はよく見られる形であるが、記述等難しめの問題が多いのも相変わらずである。難易度はやや高め。

- (1) 経線についての問題。南極視点の地図は実力テストなどでは度々出題されているが、慣れていないと難しいと思われる。難易度は高め。



- (2) 表から正しい州を選ぶ問題。それぞれの州の大まかな特徴を掴めているかが問われる。難易度はやや高い。

- (4) ②輸出品目を答える問題。先進工業国の主要な輸出品を理解できているかがポイントである。難易度は標準的。

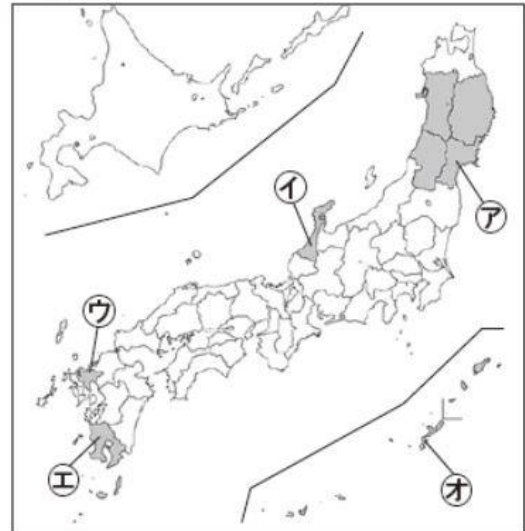
③適切な内容を記述する問題。NAFTA や EU の加盟国について理解しているかがポイントである。難易度はやや高め。

### 3.日本地理

世界地理に続いて日本地理が来るのも例年の流れである。資料を読み取るタイプの記述問題は思考力が必要であるためなかなかの難問である。難易度はやや高め。

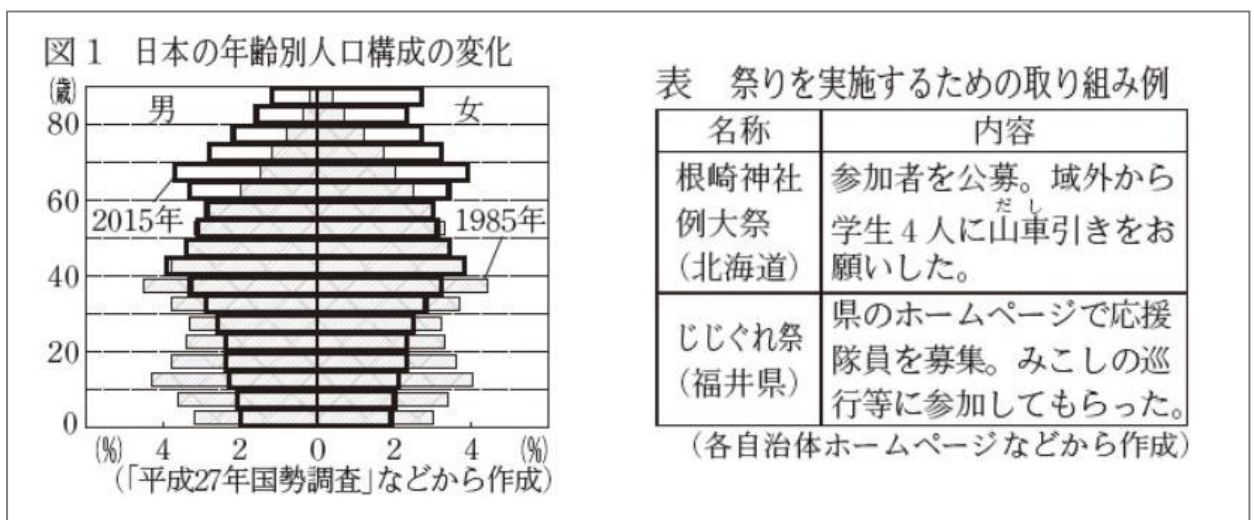
- (2) 世界遺産とその所在地の正しい組み合わせを選ぶ問題。国内の主要な世界遺産の位置はしっかり覚えておきたい。  
難易度はやや高め。

地図



※●は、来訪神の行事がユネスコの無形文化遺産に登録された8県を表す。

- (3) 図と表から読み取れる内容をもとに記述する問題。秋田県入試の地理ではお馴染みの問題である。読み取れる内容を問題文に合わせてまとめていく必要があり、一筋縄ではいかない問題である。難易度は高い。



- (4) 適切な内容を記述する問題。気候的な特色を背景として考える必要がある。  
難易度はやや高め。



## 4.公民総合

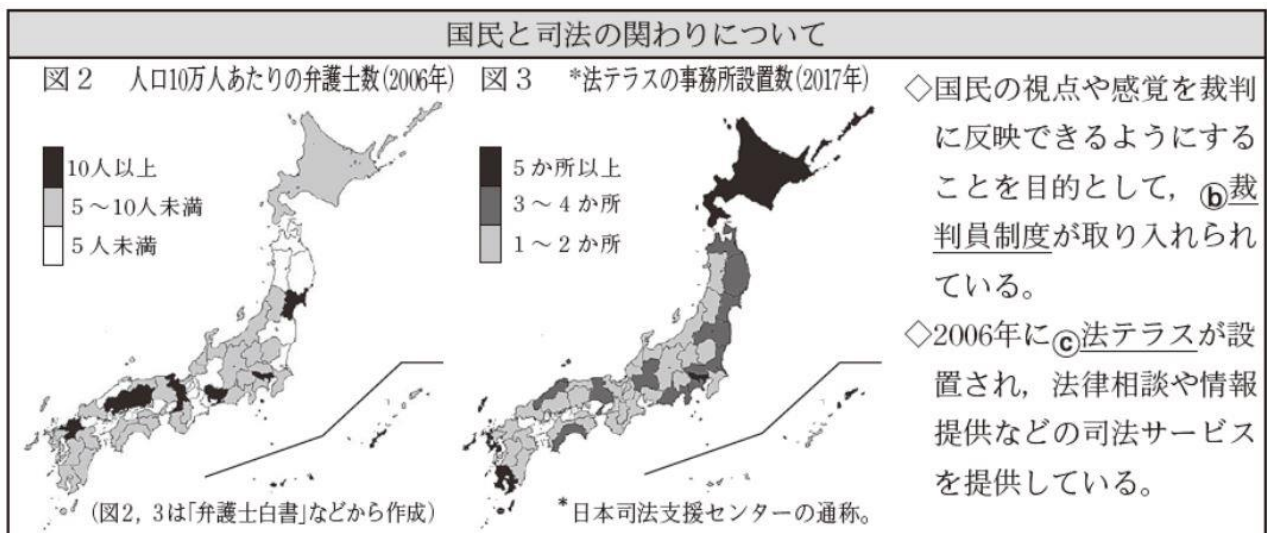
公民は例年通りの総合問題であった。特に教科書の終盤の内容は確認が甘い受験生が多いので注意したい。難易度は標準的。

- (3) 売買契約に関する問題。合意という言葉を抑えることができるかが問われた。  
難易度はやや高め。



- (4) 裁判員の役割についての問題。

- (5) 法テラスの目的に関する問題。資料から法テラスの数の特徴を読み取れるかがポイントである。難易度はやや高め。



- (9) 国連の機関に関する問題。主要な組織名と目的を理解できているかがポイントである。公民でも最後の方に出てくる所であるため、しっかり暗記しておきたい。難易度は標準的である。

- (10) 正しい州を選ぶ問題。アジア・アフリカ会議など歴史的な背景に関する理解が必要である。難易度はやや高い。

- (11) か、き. 正しい用語を記述する問題。どちらもここ数年よく出てくるようになった言葉である。難易度は標準的。